

大麦の収穫適期について

大麦の生育は黄熟期～成熟期となっています。
刈取り始めは5月30日頃からとなる見込みです。

但し、地域・圃場により熟期が異なっていますので、圃場毎の収穫適期を見極めて作業を行ってください。

また、カラスノエンドウが圃場内に侵入している場合は、必ず除去してから収穫してください。



1. 収穫適期の判断

(1) 出穂期から判断

(写真：カラスノエンドウ)

本年の出穂期は、前年より2～3日遅くなりましたが、出穂後の気温は平年よりも高く経過しており、成熟期は積算温度から判断すると、ほぼ前年より3日程度遅いと見込まれます。

なお、収穫適期は成熟期から2～3日後が目安となり、下の表を参考にして下さい。

| 出穂期 | 収穫期 【目安】 | 地区名(参考) |
|-----------|-------------|---|
| 4/8～10 | 5/29～30 | 倉部、村井新、小川 |
| 4/11～13 | 5/31～6/3 | 三浦、村井、吉田、藤木、木津、長島、島田 黒瀬、八田中、徳光、北島、上安田、福新、出合島 |
| 4/14～18 | 6/2～5 | 上島田、寄新保、内方新保、安吉、村井、 竹松、宮永、三浦、平松、石立 |
| 4/21～4/22 | 6/6～7 | 平木、横江 |

※収穫期は出穂期から判断した目安時期です。生育状況や追肥の有無によって多少前後しますので、実際の刈取り時期は水分を参考にして判断して下さい。

<参考：成熟期の目安>

- ・穂や茎葉が完全に黄化している。
(青味が全く残っていない)
- ・子実の硬さは、ろう状で大部分は爪で押さえてもつぶれない。



(2) 穀粒水分で判断

収穫適期の穀粒水分は25～20%を目安とする。早刈りは、空洞粒の原因となります。

2. 刈取り・共乾施設への搬入について

※ カントリーの荷受け計画については別途連絡します

- ・コンバインは使用前後の掃除を徹底し、異種穀粒の混入防止に努める。
- ・収穫した穀粒は、2時間以内に共乾施設へ速やかに搬入する。

～刈取り後の麦わら処理について～

麦刈取り時にコンバインのカッターの刃幅を最短にセットして、大豆播種時麦稈を鋤き込みやすくする。貴重な有機物である麦稈の焼却は避ける。